



昨年の国府宮はだか祭・大鏡餅奉納

■ 令和2年度各会計決算	
決算認定賛否表、提言書の提出について	..... P 2
各会計決算総括表、決算認定議決結果	..... P 3
■ 1 2月定例会	
一般会計補正予算、同意案、請願、意見書	..... P 4
質疑・一般質問(14人)	..... P 5～P 11
議決結果	..... P 12
■ 3月定例会開催予定	..... P 12



©稲沢市 いなっぴー

# 令和2年度 各会計決算を認定

9月定例会で決算特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた一般会計等9会計決算について、10月18日、19日、20日に特別委員会を開催しました。(令和2年度各会計決算については、3ページに掲載しています。)

各会派から選出された委員が決算書及び決算説明資料の内容(費用対効果等)について質疑をし、適正に執行されているか審査しました。

また、12月定例会初日(12月7日)に委員長が審査結果を報告した後、賛成、反対の討論を1名ずつの議員が行い、採決の結果、すべての会計決算を認定しました。



## 決算認定賛否表

議員名	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	加藤孝秋	岡野次男	富田和音	志智央	木全信明	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部猛	出口勝実	六鹿順二	朽本敏子	平床健一	星野俊次	曾我部博隆	野々部尚昭
認定番号																										
認定第1～4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※ 全員が賛成した議案は記載を省略しています。

(○は賛成、●は反対)

※ 服部猛議員は議長のため、採決には加わりません。

## 提言書を提出しました

決算審査においては、予算がどのように執行されたかだけでなく、事業成果や投資効果にも着目し、今後の事業のあり方等についても問いました。

今回新たに、審査における委員の意見を整理し、議論を重ね、新年度予算だけでなく、今後の行財政運営や政策に関する提言をまとめ、市長に提出しました。

### 提言書の概要

- ① 稲沢市のICT化推進について
  - ・ 小中学校におけるタブレット端末を用いた学習を推進し、自宅学習やオンライン授業の実現に努められたい。
  - ・ 市役所の業務において、市民サービスの向上を図るため、ICTを有効活用するよう努められたい。
- ② 脱炭素社会(ゼロカーボンシティ)の実現に向けて
  - ・ 新たな対策を講じながら、温室効果ガスの排出量削減に積極的に取り組むことに努められたい。
  - ・ 市民一人ひとりの生活において、脱炭素社会の実現に向けた啓発にも努められたい。
- ③ 公共施設の再編について
  - ・ 旧1市2町の合併によって同種施設が複数存在する現状を見直し、施設の統廃合、借地の解消、資産の売却、官民連携の推進などの行財政改革に取り組み、公共施設の再編に努められたい。

稲沢市議会だより

# 各会計決算総括表

単位:円

会 計 名		歳入額	歳出額	差引額
一 般 会 計		67,299,876,668	65,329,457,601	1,970,419,067
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12,169,073,344	11,900,494,568	268,578,776
	介 護 保 険	9,627,504,112	9,352,187,463	275,316,649
	後 期 高 齢 者 医 療	3,666,740,620	3,621,801,599	44,939,021
	稲 沢 西 土 地 区 画 整 理 事 業	720,739,292	329,514,988	391,224,304
	小 計	26,184,057,368	25,203,998,618	980,058,750
一 般 会 計 ・ 特 別 会 計 合 計		93,483,934,036	90,533,456,219	2,950,477,817

会 計 名		収入額	支出額	差引額	
企 業 会 計	病 院 事 業	収益的	7,911,997,153	7,146,352,792	765,644,361
		資本的	454,880,237	597,748,548	※1 0
	水 道 事 業	収益的	2,704,006,075	2,222,743,117	481,262,958
		資本的	710,790,674	2,486,710,447	※2 0
	公 共 下 水 道 事 業	収益的	1,926,536,457	1,848,133,866	78,402,591
		資本的	1,753,935,757	2,521,076,142	※2 0
	集 落 排 水 事 業	収益的	268,622,935	337,403,114	△ 68,780,179
		資本的	76,152,810	76,152,810	0

※1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

※2 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

## 決算認定議決結果

議案番号	件 名	認定結果	
認定第 1号	令和2年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 2号	令和2年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 3号	令和2年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 4号	令和2年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 5号	令和2年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第 6号	令和2年度稲沢市病院事業会計決算認定について	全員賛成	認定
認定第 7号	令和2年度稲沢市水道事業会計決算認定について	全員賛成	認定
認定第 8号	令和2年度稲沢市公共下水道事業会計決算認定について	全員賛成	認定
認定第 9号	令和2年度稲沢市集落排水事業会計決算認定について	全員賛成	認定

稲沢市議会だより

# 12月定例会開催

12月定例会は12月7日から23日までの17日間の会期で行われました。

市長から条例関係議案4件、法定議決議案2件、予算関係議案10件（内、1件冒頭議決、1件最終日提案）が提出されました。

冒頭議決案件である議案第54号 稲沢市一般会計補正予算（第6号）については、7日に全員賛成で可決しました。

16・17・20日に開催した総務・文教厚生・経済建設の各常任委員会において、付託された議案について審査しました。

また、14人の議員が市政全般に対する質疑・一般質問を10・13・14日に行いました。

（主な発言及び答弁は5ページから11ページに掲載しています。）

最終日に追加提出された、議案第69号 稲沢市一般会計補正予算（第8号）も含め、今定例会で提出されたすべての議案について、全員賛成で可決、同意しました。

## 一般会計補正予算

一般会計補正予算（第6号・第7号・第8号）の主な歳出の内容は次のとおりです。

### 第6号（冒頭議決）

#### ○衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）に係る関係経費  
2億2000万円

### 第7号

#### ○総務費及び教育費

旧祖父江町郷土資料館はじめ3施設の解体工事費  
3800万円

#### ○民生費

公立保育園における空気清浄機購入に係る経費  
500万円

#### ○商工費

あいスタ認証取得促進支援事業に係る関係経費  
1900万円

#### ○消防費

消防団詰所整備に係る土地評価業務委託料  
460万円

#### ○教育費

小中学校オンライン授業環境整備に係る関係経費  
2230万円

学校給食の有機栽培食品提供に係る関係経費  
75万円

### 第8号

#### ○民生費

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業に係る経費  
2670万円

子育て世帯等臨時特別支援事業に係る経費  
10億3300万円

※万円未満切り捨て

## 同意案

次の方を任命する同意案に同意しました。

### ○教育長

広沢 憲治 氏  
（稲沢町前田・新任）

## 請願

次の請願について審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

○請願第2号 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願

## 意見書

12月定例会の最終日に意見書1件について審議した結果、全員賛成で可決しました。

○意見書案第4号 ヤングケアラーへの支援の充実についての意見書

高校生等までの子ども医療費  
無料化について



杉山太希議員



**Q** 愛知県内において、入院・通院ともに、高校生等までの子ども医療費を無料化している自治体数は。

**A** 令和3年10月現在、北名古屋市をはじめ9市町村あり、今後、名古屋市、岩倉市、弥富市の無料化が決定している。

**Q** 稲沢市が高校生等までの通院医療費を、無料化した場合の費用は。

**A** システム改修などの事務費で約1200万円、毎年の扶助費が、約1億2千万円と見込んでいる。

**Q** 稲沢市においても、高校生等までの医療費を入院・通院とも無料化するべきではないか。

また、国民健康保険税の均等割を未就学児まで5割軽減

**A** 子ども医療費の高校生等までの助成について、入院は既に実施済みであるが、通院も無料化を進めていきたい。実施の時期は、システム改修や受給者証の更新時期に合わせて、令和5年4月となる。それまでに関連する条例等の改正を行う予定をしている。

また、市独自の施策として、高校生等までの国民健康保険税の均等割について、5割軽減できるように調整を進めていきたい。



デザイン思考と自治体DXについて



富田和音議員



**Q** 政府が行政サービス改革の基本思想として位置付けている「デザイン思考」をどう捉えているか。

**A** 行政サービスや業務の仕組みを住民目線に置き換えるもので、それらの見直しや行政分野の課題解決に寄与するものと考えている。

**Q** 業務改善等を活発化し、より豊かな市民サービスを提供するためのデザインプロデューサーを採用する等、デザイン経営の視点を稲沢市も導入すべきと考えるが市の見解は。

**A** 業務に精通した職員自らが、デザイン経営の視点をもって業務改善を担っていく姿勢が不可欠であり、また、そうした人材を育成することが肝要であると考えている。

**Q** 自治体DX推進について、総務省は専門的知見を有する外部人材の活用を促している。稲沢市は、外部人材や、Z世代の若い職員の登用を検討し、積極的にDXを推進すべきと考えるがどうか。

**A** 総務省が自治体からの求めに応じてICTの知見を有する専門家を派遣する「地域情報化アドバイザー制度」を活用し、その助言を受けてDXの推進を始め、ICT化を担える人材の育成を図る。また、外部人材の登用については、国や県の動き、他市の状況も見据えながら検討していく。



空き家や耕作放棄地からの樹木等の  
はみ出しへの対応について



津田敏樹議員



**Q** 空き家から近隣への樹木のはみ出しについて、どのように取り組んでいるか。

**A** まず現地確認を行い、状況を写真で記録する。次に、所有者が市内在住の場合は、自宅を訪問し是正を依頼し、市外在住の場合は、状況写真と同封した依頼文書を送付している。また、住民登録はあるが居住実態がない場合は、納税義務者を特定し、是正を依頼している。

**Q** 空き家から近隣への樹木のはみ出しについて、今後の取り組みは。

**A** 現在、市のホームページで「樹枝や雑草等の管理についてのお願ひ」という行政区内での回覧に活用できるものを公開しているが、あまり浸透していないと思う。行政で対応できる範囲にも限界があるので、地域でも解決していただけるように、周知を進めていきたいと思う。

**Q** 耕作放棄地等から市道へ樹木や草木が張り出している場合、どう対処しているか。

**A** 通行に支障があるとの苦情があった場合、土地所有者の自宅へ伺い、樹木等の剪定や草刈りをするように直接指導している。不在の場合や市外在住の場合は、文書で指導している。



稲沢市ゼロカーボンシティの  
実現に向けた取り組みについて



杉本敏子議員



**Q** 令和3年9月2日に「稲沢市ゼロカーボンシティ宣言」を行ったが、まずどのような事から取り組むのか。

**A** 導入できる公共施設の照明器具を来年度LEDに変更する。また、公用車の更新時、用途に見合う車種があれば、電気自動車や燃料電池自動車の導入を進める。併せて、公共施設への電気自動車等充給電設備の導入や太陽光発電の導入を促進したいと考えている。さらに、環境センターの発電電力を有効活用していくよう検討する。

**Q** おける可燃ごみの組成は、生ごみが44.4%、リサイクルできる紙類が15.5%、紙ごみが12.5%、布類が5.6%、プラスチック製容器包装が5.3%、不燃物類が1.3%、その他可燃物類が15.4%である。

**Q** プラスチック資源循環促進法が成立し、自治体の努力義務であるプラスチックの一括リサイクルを進めるべきだが考えは。

**A** 一括リサイクルを進めていきたいが、しばらくは準備期間を要するため、具体的なことは今後周知な準備のもとに決めていきたい。

**Q** ごみの量の状況と可燃ごみの組成は。

**A** 前年度比で、事業系可燃ごみは減少傾向だが、家庭系可燃ごみ量はコロナ禍で巣ごもり消費が増え、微増した。平成30年12月の調査に



第6次総合計画及び都市計画  
マスタープランの実現化について



近藤治夫議員



**Q** 総合計画の自主財源確保の取り組みは。

**A** 土地利用の規制緩和、企業誘致などが、市税収入の固定資産税・都市計画税の増加に繋がっていく。平成17年度と令和2年度の決算を比較すると、約10億円の増収となったが、安定的な財源確保には、継続的な市内投資が重要だと考える。

**Q** 市街化調整区域内地区計画の運用指針見直し後、民間活力の導入状況と課題は。

**A** 現在、事業者と10件の継続協議をしている。事業化にあたっては関係機関等との調整や協議が多く、長期間を要するが、事業者との連携を密にしていきたい。課題の一つに調整池整備の事業採算があり、他の助成制度や取り組みと調和を図り、

支援の可否を見極めたい。

**Q** 土地区画整理事業の助成制度は。

**A** 国庫補助金や市の助成金の制度がある。本市では、土地区画整理組合助成等要綱に基づき、対象経費の10分の3以内の助成をし、さらに技術的支援もしている。

**Q** 都市計画にない地区が、組合施行の区画整理を望む場合どうなるか。

**A** 地域のまちづくりへの意欲が重要であるが、都市計画の考え方などまちづくりの必要性を考慮し、計画の見直しを含めて事業化を判断する。



第3次都市計画  
マスタープラン

子どもの貧困・子育て支援について



曾我部博隆議員



**Q** 憲法第26条は「義務教育は無償」と定めている。ところが、無償どころか、さまざまな負担が子育て世代家庭を襲っている。毎月の負担で大きいのが給食費である。給食費の負担はどうなっているか。

**A** 年間190食とすると、単独調理の場合、小学校4万7500円、中学校5万5100円になる。(共同調理の場合は若干安くなる。)

**Q** 今後の子どもの貧困対策・子育て支援をどのように考えているのか。

**A** 無料にするには1億4千万円ほど必要になる。今以上の拡充は難しい。

**Q** 子育て世帯への市独自の支援として、来年4月から18歳までのお子さんについては、国保税の均等割を5割減額する。

**A** その他の減免、助成といった経済的な支援策については、市全体の中でどうしていくかバランスを見ながら考えていく。

**Q** 3〜5歳児の幼児教育保育料は無償になったが、給食費は負担しなければならぬ。



学校運営協議会について



木全信明議員



**Q** 学校運営協議会は学校だけではなく、地域住民や志ある方々が学校運営に参加する協議会である。その運営を円滑に進めるためには、

地域コーディネーターの配置の必要性を答弁していたが、現状と次年以降はどのような形態になるのか。

**A**

多くの学校で、地域の住民や関係組織とのパイプ役となる地域コーディネーターを配置しているが、本年度は立ち上げの年であるため、実際は教頭が中心となつて会の運営を進めていることが多い現状である。今後は全小中学校に地域コーディネーターを配置するとともに、各学校で地域コーディネーターを中心として会が運営されるように、事前打ち合わせや研修等の充実を図っていききたい。

**Q**

各学校の運営協議会の連絡・連携、先行自治体・学校等の事例研究の反映等、地域コーディネーターを統括する専門員が要になると思うが、配置の実現性と方向性は。

**A**

各学校の地域コーディネーターの力量によって、学校の取り組みに差が出ないよう、統括コーディネーターが学校間を繋いだり、各学校の状況に応じた指導や助言をする必要がある。コミュニティ・スクールの活動を充実させるためにも、地域コーディネーターを統括する専任のコーディネーターの配置に向けて準備を進めていききたい。



男女共同参画社会の実現について



北村太郎議員



**Q** 本市の男女共同参画の取り組みは。

**A**

令和3年3月に「いなざわ男女共同参画プランⅢ」を策定した。本プランは、これまでのプランⅡの理念を継承しつつ、性的少数者への理解、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした多様な課題に対応した計画となっている。その実現のため関係部局と横断的に協力しながら事業を進めている。

**Q**

パープルリボン運動にどのように参加しているか。

**A**

女性に対する暴力撤廃国際日である11月25日に合わせて、毎年11月12日から11月25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間として定めている。

期間中は国や地方公共団体、女性団体やその他関連団体が連携して、女性に対する暴力根絶を目指して、パープルリボン運動などの啓発活動を行う。本市の取り組みは、広報11月号に「女性に対する暴力」をテーマとした記事を掲載するとともに、市役所はじめ、支所、市民センターへ大型ポスターを掲示した。また、より多くの市民に、この運動を周知するため、市内の商業施設に御協力いただき、市内の男女共同参画推進団体と啓発物品の配布をした。



女性に対する暴力根絶のシンボルパープルリボン運動

稲沢市において交通死亡事故  
ゼロを目指す取り組みについて



平床健一議員



**Q** 早めのライト点灯を促す「おもいやりライト運動」と、交通事故で亡くなった男の子が大切に育てていたひまわりの種を引継ぎ育てることにより、命の大切さについて考える「ひまわりの絆プロジェクト」を稲沢市でも啓発することで、交通安全に対する意識向上につながるかと考える。

今年から、私は「おもいやりライト運動」を啓発するべく、元路線バスを「ニコニコひまわりバス」と名付け走らせている。また、京都府警からひまわりの種を分けて頂き、地元の賛同者の方々の協力のもと、ひまわりを咲かせていただいた本市で『交通死亡事故ゼロ』を目指すため、これらの取り組みを検討すべきと考えますが、市長の考えは。

**A** 日没が早くなる時期の早めのライト点灯は、交通事故防止に非常に有効である。今後、日没時刻に合わせて反射材着用を促す内容も含め庁内放送等で啓発をしていきたい。ひまわりの絆プロジェクトは、非常に良い取り組みである。稲沢警察署がこの取り組みを始めているとのことなので、本市においても、プロジェクトを含め、交通事故防止を伝える取り組みについて考えたい。



学校現場の諸問題について



野々部尚昭議員



**Q** 現在、小中学校のトイレの洋式化の整備率は約50%である。各学校によって整備状況に偏りがあるため、児童生徒、保護者、また、教職員の中でも、特に産休前の女性教職員から職員トイレの洋式化をさらに進めてほしいと声が上がっている。市は整備を一旦終わったものとしているが、市内全校を対象とし、改めてトイレの洋式化の再整備計画を作成するべきだと思う。今年度中に具体的なスケジュール案を作成し、来年度から整備する必要があると思うが、教育委員会の考えは。

残り全てを一気に整備することはできないが、できるだけ早く整備できるように、本年度中に整備スケジュールの策定を進めていく。

**Q** 現在、スクールカウンセラーは19校、スクールソーシャルワーカーは2校に配置されている。現場の声を聴いていると、全市的に不足していると思う。カウンセラーの増員を県に積極的に働きかけ、ソーシャルワーカーにおいても市が積極的に増員配置をしていくべきではないか。

**A** スクールカウンセラーについては、引き続き相談時間を増やすよう県に要望していく。スクールソーシャルワーカーについても、生じる問題に確実に対応できるように、実態に合わせて充実させていく。



子育て・教育への投資について



岡野次男議員



Q

本市の学校施設は老朽化が進み、エアコン、洋式トイレの設置率については県内自治体の中でも低い。稲沢市の決算総額に占める子育て教育費の構成比率は27.4%で、県内同規模の6自治体中5位と低い。もっと子育て教育へ重点配分すべきではないか。

A

扶助費など義務的経費が増加する中、子育て・教育の構成比を大幅に上げることが難しい。限られた財源の中で事業の効果を見極め、必要な子育て教育施策に重点的に予算配分しているが、さらなる充実を図りたい。

Q

本市の子育て・教育を充実させていくには、既存設備の有効活用と、子育て・教育における大きな施策を柱とし、きめ細かなサービス

向上に努めることが重要と考えるが市長の考えは。

A

子育て・教育環境の充実が最重要課題である。保育・幼児教育の段階的無償化、子ども医療費無償化対象年齢の拡大、中央子育て支援センターの建設、セーフティ・プラスワン事業による下校時の安全対策、海外や広島への中学生派遣事業等に取り組んでいる。学校の洋式トイレやエアコンの整備は、補助金も活用しながら計画的に整備する。市の特徴的な取り組みについても継続的に、上手に市内外にPRしながら進めていく。

	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	平均	順位
	2016	2017	2018	2019	2020		
A市	30.4%	36.5%	32.8%	31.0%	27.6%	31.5%	1位
B市	28.8%	30.6%	28.1%	30.3%	30.0%	29.6%	2位
C市	29.0%	30.7%	31.2%	29.8%	24.6%	28.7%	3位
D市	28.0%	29.2%	30.8%	30.1%	23.9%	28.1%	4位
稲沢市	29.7%	27.2%	25.5%	30.0%	25.4%	27.4%	5位
E市	23.2%	25.9%	28.8%	36.4%	21.9%	27.1%	6位

「子育て・教育」決算構成比率の県内同規模自治体比較  
計算式＝(児童福祉費＋教育費)÷[一般会計歳出総額]

少子高齢化における取り組みについて



黒田哲生議員



Q

人口の社会増を促すために「企業誘致」「土地利用」「リニアインパクト」「国府宮駅周辺再開発」の4つのキーワードが出てくるが、抽象的で具体案が見えないという、市内の東西二極化を生む原因になると考える。これからの人口推計を見ても、人口増加は困難と推測される。今後の人口減少に対する課題や明確な施策など、市長の考えは。

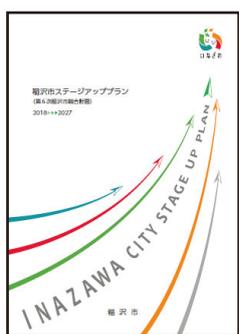
A

県内でも低い出生率に対する危機感から、「子育て・教育は稲沢で！」を掲げて政策を進めてきた。子育て政策の充実により、社会増につながったが、都市間競争に打ち勝つことは困難で、同時に土地利用施策にも力を入れることになった。年間五、六百人の自然減があるからには、下津の

ような大規模な開発をしなければ、人口増は困難と考える。市外からの転入で人口を増加させていかなければならない。

市街化調整区域でも、条例により住宅建設が可能な地域を広げる政策や市街化調整区域内の地区計画を可能とする地区を増やしてきた。今後は、土地利用制限緩和区域の一層の拡大や土地区画整理事業地区の拡大ができる区域を広げる。

市内の東西二極化については、地域のコミュニティを守る努力が必要と考える。



稲沢市ステージアッププラン

医療的ケア児の支援について



志智 央議員



**Q** 医療的ケア児は、預けられる保育園や通わせられる学校が少なく、あったとしても保護者の同伴が必要で、仕事を諦めざるを得ないケースが多くある。この課題を解決するため、医療的ケア児とその家族を支援する法律が施行された。稲沢市の保育園での医療的ケア児の受け入れ状況は。

**A** これまで要請のあったケースは、いずれも頻繁に医療的ケアが必要であり、看護師などの専門職の配置がでなかつたため、公立保育園での受け入れ実績はない。民間保育園では、専門職の配置がない状況だったが、保護者には適宜来園頂き、必要な医療行為を行い、保育時間中には、すぐに連絡が取れる体制にする等の協力を頂き受け入れを行った。

**Q** 家から近い保育園に入り、小学校に上がれば、子どもや保護者、地域の人の繋がりが生まれ、災害時など助けを受けられる。保育園での受け入れを可能にする体制を整備して頂けないか。

**A** 令和5年度から「医療的ケア児保育支援事業」を活用し、看護師配置等について検討している。通常の障がい児保育の基準で受け入れが可能で、インスリン注射や導尿、痰吸引等の医療行為が必要なお子さんやまが対象としたいと考えている。

医療的ケア児とは

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に**医療的ケア**（人工呼吸器による呼吸管理など）を受けることが不可欠である児童のこと

交通事故対策について



加藤孝秋議員



**Q** 暗くなつてからの事故が多いが、市内道路の交差点付近の照明を明るくすることについて、市の見解は。

**A** 交差点付近を明るくする事は、事故防止に一定の効果があることは理解している。道路構造令を踏まえて、照明の設置個所を考えたい。

**Q** キへの補助の現状は。

**A** 国の補助金は終了したが、令和3年度末まで引き続き県と市の補助事業を行う。

**Q** 運転免許証の返納者に対する支援等は。

**A** 運転免許証を自主返納された65歳以上の方に、稲沢市コミュニティバス・コミュニティバス接続便の無料乗車券を交付している。

**Q** ヘルメット着用や自転車保険の加入について、市の見解は。

**A** ヘルメット着用や自転車賠償責任保険等の加入の義務化について啓発等をしてきた。ヘルメットの着用については、地道な啓発活動を行い、市民の意識を変えていくことが重要だと考える。

**Q** 警察と連携し、ヘルメット着用努力義務と自転車損害賠償責任保険等の加入の義務化について啓発等をしてきた。ヘルメットの着用については、地道な啓発活動を行い、市民の意識を変えていくことが重要だと考える。

**Q** 小中学校での交通安全の指導や取り組みは。

**A** 「通学路交通安全プログラム」による合同点検と学期に一回程度の通学路点検を実施している。

**Q** 高齢者に対する後付けブレーキ



# 12月定例会議決結果

編集／広報広聴委員会

発行／稲沢市議会

議案番号	件名	議決結果	
議案第 54号	令和3年度稲沢市一般会計補正予算（第6号）	全員賛成	可決
議案第 55号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 56号	稲沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 57号	尾張都市計画稲沢下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 58号	稲沢市立体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 59号	稲沢市公の施設における指定管理者の指定について	全員賛成	可決
議案第 60号	稲沢市道路線の認定について	全員賛成	可決
議案第 61号	令和3年度稲沢市一般会計補正予算（第7号）	全員賛成	可決
議案第 62号	令和3年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 63号	令和3年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 64号	令和3年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 65号	令和3年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 66号	令和3年度稲沢市水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 67号	令和3年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 68号	令和3年度稲沢市集落排水事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 69号	令和3年度稲沢市一般会計補正予算（第8号）	全員賛成	可決

(報告)

報告第 13号	専決処分の報告について
---------	-------------

(同意案)

同意案第 11号	教育長の任命について	全員賛成	可決
----------	------------	------	----

(請願)

請願第 2号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	賛成少数	不採択
--------	----------------------------	------	-----

(意見書)

意見書案第 4号	ヤングケアラーへの支援の充実についての意見書	全員賛成	可決
----------	------------------------	------	----

※ 請願第2号は曾我部博隆議員が賛成。他の議員については、反対となりました。

※ 服部猛議員は議長のため、採決には加わりません。

<p><b>議会事務局</b></p> <p>電話(直通) <b>(0587) 32-1459</b></p> <p>FAX <b>(0587) 32-1124</b></p>	<p><b>3月定例会開催予定</b></p> <p>本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まります。次回開催の3月定例会会期日程(案)をご案内します。</p> <p>3月</p> <p>4日(金) 開会</p> <p>9日(水) 質疑・一般質問</p> <p>10日(木) 質疑・一般質問</p> <p>11日(金) 質疑・一般質問</p> <p>14日(月) 質疑・一般質問予備日</p> <p>15日(火) 総務委員会</p> <p>16日(水) 文教厚生委員会</p> <p>17日(木) 経済建設委員会</p> <p>22日(火) 委員会予備日</p> <p>23日(水) 議会運営委員会</p> <p>24日(木) 閉会</p> <p>※日程は変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、傍聴については、自粛をお願いすることがあります。</p> <p>詳細は、議会事務局までお問い合わせください。</p>
--	--

